

シネマ203

北ぶらくり丁の小さな映画館

たまにはちょっと、映画でも



見たい映画を見逃す心配のない映画館に「日時オーダー受付中」

- 毎月の土日祝を中心に、シネマ203が上映時間を設定してスケジュールを発表します。
- 見たいのに行ける回がない！という非常事態には、お気軽に **日時オーダー** お寄せください。ご希望の上映時間に、ご希望の上映作品を、追加上映いたします。
(追加上映は、HP、Facebook、Instagramで随時更新しますので、どなたでもご来場ください)
- 当日券あり、いつでもふらりとご来場ください。
なお、15席の小さな劇場ですので、ご観賞の事前予約も各回10名様まで承ります。
(HPのスケジュールページに予約フォーム有。電話、メール、SNSメッセージでの予約も歓迎)

入場料金 (基本料金)

一般：1,700円 / 大專：1,500円 / 小中高：1,000円

- ※ 当日入口にて現金のみ。各回上映10分前開場。全席自由席。受付順にご入場ください。
- ※ 特集上映など各種割引料金の設定あり。詳しくはHPやチラシにて。

アクセス【北ぶらくり丁会館2F】

本町公園より徒歩1~2分

北ぶらくり丁と本町公園を南北に繋ぐ細い道路に【北ぶらくり丁会館】の鉄看板あり。奥の赤い階段を2階へ。

【駅から徒歩】

和歌山市駅より徒歩10分(800m)

和歌山駅より徒歩25分(2km)

【駅からバス】各バス停より徒歩2~4分

和歌山市駅より約1~2分

和歌山駅より約5~9分



北ぶらくり丁会館 203号室

cinema 203

シネマ203

8月の上映



ギヨーム・ブラックの夏

<フィクションとドキュメンタリー>



和歌山市中ノ店北ノ丁22
北ぶらくり丁会館 203号室
090-8172-7074

cinema203.com





最高の夏！ ギョーム・ブラックの夏!!

2013年は忘れられない年です。『女っ気なし』という映画が公開されると伝え聞いた瞬間、それがどんな映画か、誰の映画かもまったく知らないまま、これはただ事ではない、と胸がざわついたのを覚えています。フランス語の原題が「女のいない世界」ということも知らなかった。

ただ、数々の素晴らしい邦題が、自分の中にギョッシリ詰まった人が付けた邦題だ！と新時代の予感に震えました。ついに目にしたその作品の軽やかさ、繊細さ、そして確かさを、いまだ言いあらわすことができません。ただ見ていたい。その気持ちが今もずっと続いています。

ギョーム・ブラック監督の作品は、夏のそよ風のように少しずつ少しずつ、一人ひとりの映画ファンの心に沁みわたっていったように思います。映画を見に行く楽しみを熟知している人たちが、映画ファンのための映画を撮って、手渡して届けてくれる。やがて時代が追いついて、数年ごとの監督特集の行列がどんどん伸びてゆく。そして10回目の夏、ついに和歌山に念願の特集上映を迎えることができました。ただ一つだけ、和歌山初上映の『勇者たちの休息』『7月の物語』だけDVD上映となったことが心残りです。もしそれでもよろしければ、是非ご覧ください。

迷われたら、まずは『女っ気なし』からいかがでしょう。映画を見るよろこび、同じ時代を生きるよろこび、和歌山で暮らすよろこびを噛みしめて。今月の作品解説は、ご覧になった皆さんにお任せしたいと思います。

『ギョーム・ブラックの夏』〈フィクションとドキュメンタリー〉

	タイトル	Ⓜ	memo
1	遭難者		
	女っ気なし		
2	やさしい人		
3	勇者たちの休息		
	7月の物語		
4	宝島		
5	みんなのヴァカンス		
6	リンダとイリナ		

「教えて、本町文化堂！」はじめてのアジア映画特集

『ギョーム・ブラックの夏』が終わったら、季節は秋です。秋といえば読書の秋、読書といえば本町文化堂——ということで、9月～10月は、和歌山の新しい文化発信基地に、カルチャー指南を仰ぐことにしました。アジア映画です。1本日は、本町文化堂の前身、本屋ブラグが自主上映で和歌山に紹介してくれたマレーシアの名作『タレントタイム』を。忘れがたい女性監督ヤスミン・アフマドの代表作の日本最終上映（9/20(金)まで）です。

台湾からは、9月に『OLD FOX』、10月に『本日公休』の理髪店をめぐる2本を。台湾は特に本町文化堂の得意分野でもあるので、これまで知らなかった台湾映画の懐の深さに触れる追加作品の決定が楽しみ！個人的には、世界の映画の文法を変えた偉大なホウ・シャオシェンの遺伝子を探してみたいと目論んでいいます。乞うご期待。

9月～10月の上映 〈アジア映画特集〉



永遠の子ども時代に、最高の夏に乾杯！

6月～7月のヴィム・ヴェンダース監督特集は、予期せぬほどエキサイティングな2ヶ月になりました。70年代のロード・ムービーや、巨人への憧憬溢れるドキュメンタリーを見た上での最新作『アンゼラム』に圧倒された…。本町公園での真夏の野外上映も忘れられない上映になりました。皆さま、ありがとうございました！

シネマ203のグランド・オープンには絶対にこの人、と決めていたギョーム・ブラック監督作品、早くも全作特集です。昨年10月にはまだ203なんて知らなかったよ、という常連の皆さまを筆頭に和歌山のすべての方々にご覧いただきたい(笑)。私たちの知っている夏、私たちの暮らしにどこか似ている、和歌山で見るからわかる何か詰まっているなど見るたびに思います。ギョームさんは

2014年の来日時に「観光地はいい。本当の人間の暮らしを見せてくれ」と仰っていたから、この街のことはすごく気に入るだろうと思うんです。

こう暑いと想像するのも難しいですが、秋の準備が進んでいます。上記〈アジア映画特集〉に加え、秋から冬にかけては長尺の作品が続きますので、スケジュールの確保をお願いします。4時間のランチ・レストラン体験、6時間のイタリア社会派ドラマは、いずれも休憩を挟んでの特別興行に。「おお、映画見たあ！」というゲップとともに、お腹いっぱい“芸術の秋”をご賞味あれ。もちろん、つまみ食いも歓迎ですw。

“食欲の秋”には注意したいですが、できれば、“読書の秋”は推進したいと思いつつ……。

(北ぶらの食いしん坊より)